



↓中屋敷

7/28内閣総理大臣と都道府県議会議長との懇談会(総理官邸)

毎年のように感じていることかもしれないですが、今年の暑さは今までに体験したことのないような厳しい暑さですね。50年も昔の私達の子供のころは「暑い」といってもせいぜい31℃くらいだったように記憶しています。ところが、今日2日は40℃超えも予想されています。温暖化は着実に進んでいるようです。今できる対策ではなく、今直ちに取り組まなければならぬ対策に積極果敢に挑まなければ、取り返しのつかないことになってしまいうような危惧しています。

さて、2月定例会最終日

葉月に思う

なかやしき慎一

埼玉県議会議長
埼玉県議会自由民主党議員団

チャレンジ通信



に第126代埼玉県議会議長に就任させて頂き、公務重なる中で5月中旬ごろには母を弔い、議長として初めて迎えた「6月定例会」も無事に終えることが出来ました。また、その間から参議院議員選挙・鴻巣市長選挙と度重なる選挙もあり、やっと今自身の世事を顧みる時間も少しだけとれるようになりました。選挙を通じて様々な感じ入ることはありましたが、次回選挙に向けて自身の新たな試みも進めていかねばと思っております。

6月定例会後議長公務としては、全国議長の会議が続いていました。私は今年度全国議長会では、地方自治委員会の委員長を拝命しました。このチャンスを活かして、2年間の団政調会長当時に扱った、「死亡ひき逃げ事件における公訴時効撤廃に向けた法整備」などの諸課題を前進させるためのスケジュールメントを發揮出来るよう頑張ります。

県議会6月定例会報告

原油価格・物価高騰に対する 経済支援 として
補正予算【第1号・第2号】 27億4,975万1千円

降ひょう被害への緊急対策として
補正予算【第3号】 8億7,450万8千円



県議会6月定例会は6月17日から7月7日にかけて開催され、一般会計補正予算【第1号・第2号】あわせて27億4,975万1千円を議決しました。

補正予算の主な内容は、ウクライナ情勢や円安の影響を受けた生活者や事業者を支援する国による「コロナ禍における『原油価格・物価高騰等総合緊急対策』」に基づくもので、県として緊急に対応すべき事業として、「生活者への支援(5億495万6千円)」と「事業者に対する支援(9億6,932万9千円)」が大きな柱となっています。また、緊急に対応すべき事業に加え、脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資を促進するための予算(11億3,056万6千円)が盛り込まれました。

6月2日および3日の降ひょうは県内において大きな被害を及ぼしました。私たち自民党県議団は6月6日、いち早く大野知事に緊急対策を求める要望書を提出し支援に取り組んでまいりました。



6月定例会では降ひょう被害の緊急対策として補正予算【第3号】8億7,450万8千円を議決。被害の大きい11市7町を「農業災害対策特別措置条例」に基づく「特別災害」に指定するとともに、認定基準に満たなかった4市についても実質無利子で融資が受けられる「農業近代化資金」の対象となることが決まりました。さらに、被害を受けた農業施設の修繕や苗などの購入費を補助する予算も盛り込まれました。私たち自民党県議団は地域の経済と人々の生活を守るため、今後も全力で働く所存です。

県議会議長日記

~photoレポート~



6/5日本ボーイスカウト埼玉県連盟年次総会出席(江南総合文化会館ピア)



6/8第39回埼玉県高等学校総合文化祭開会式出席(さいたま市民会館おおみや)



6/9デフリンピック空手で金メダルを獲得した小倉涼選手(坂戸市)。手話通訳者を介し貴重なメダルを拝見させていただきました。



6/9第24回夏季デフリンピック競技大会出場選手結果報告(議長室)



6/9埼玉県獣医師会第74回定時総会出席(清水園)



6/11第126代埼玉県議会議長なかやしき慎一就任報告会(クリアこうのす大ホール)



7/11全国高等学校総合体育大会等埼玉県選手団結団式(埼玉会館大ホール)



7/12「ちふれASエルフェン埼玉」表敬訪問(右:鴻巣出身加藤千佳選手)



7/21寄居町の「朝顔『團十郎』を楽しむ会」表敬訪問(議長室)



7/26埼玉県解体業協会要望書提出(県発注の解体工事に関わる改善検討など)



7/26地すべりがけ崩れ対策都道府県議会議長協議会総会出席(グランドアーク半蔵門)

原油価格・物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援

学校給食等の物価高騰に直面する保護者等への支援 9,406万5千円

概要

学校給食等の食材価格高騰に直面する保護者等の負担増加の回避のため、当面の間、**食材価格高騰相当額を補助**する。

対象校

- 県内で学校給食等を実施している以下の学校
- 県立の中学校・夜間定時制高校・特別支援学校
 - 私立の小学校・中学校・特別支援学校



補助内容

学校給食等の食材価格高騰相当額を学校に対し補助（15%を目安）

県からの補助 ⇒		価格高騰相当分(45円)	各業者へ支払い
(例)一食あたり 300円→345円 に高騰した場合	保護者負担額 (変更なし)	保護者負担(300円)	

夏休み期間の子供の食事等を確保するための支援 8,137万3千円

概要

子供の居場所等の活動支援を通じて、夏休み期間に限り、子供の食事等を確保するため、**食品や学用品を子供に提供**する。

内容



県内企業と協力・連携

県内地域公共交通事業者への支援 4億2,880万円

概要

県内の乗合バス及びタクシー事業者の運行継続を支援するため、**燃料費高騰の影響分を補助**する。

補助対象等

- 補助対象: 乗合バス 2,400台 タクシー 5,900台
- 対象期間: 令和4年4月から9月まで



県内中小企業等の資金繰りへの支援 7,000万円(債務負担行為 限度額 7億円)

概要

原油・原材料価格の高騰に対応するため、経営安定資金(知事指定業種)の緊急融資枠を拡大する。

- 融資枠: 100億円 → **300億円**
- 融資利率: 0.6~0.8%
- 融資限度額: 運転資金 8,000万円

県内観光関連事業者(貸切バス・旅行事業者)への支援 2億9,306万5千円

貸切バス事業者に対する経営支援

- 補助対象: 貸切バス 1,800台
- 補助額: **15万円/台**

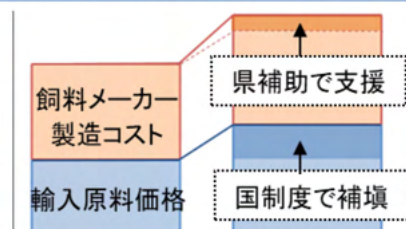
旅行事業者のバスツアー造成に対する補助

- 補助額: 日帰り **5万円/旅行商品**
- 宿泊(県内) **10万円/旅行商品**
- 宿泊(県外) **5万円/旅行商品**

県内畜産農家への支援 1億 745万2千円

概要

県内畜産農家の経営支援のため、配合飼料価格のうち飼料メーカーの製造コスト上昇分の一部について補助する。



- 補助額: 配合飼料購入量 **500円/トン**

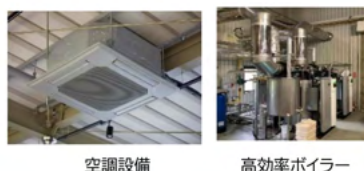
脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資の促進

県内中小企業等の省エネ・再エネ設備投資への支援 4億 699万9千円(債務負担行為 限度額 5億5,475万円)

(1)緊急対策枠の創設による支援強化

エネルギー使用量やCO₂排出量の削減を加速させるため、省エネ・再エネ設備の導入費用を補助する緊急対策枠を創設し、補助率を従来から拡充する。

- 補助上限額: 500万円
- 補助率: 1/3・1/4 → **2/3**
- 申請手続きの簡素化



(2)エネルギー対策特例の創設による支援強化

カーボンニュートラルの実現に向けた県内中小企業等の設備投資を支援するため、設備投資促進資金に「エネルギー対策特例」を創設する。

- 融資枠: **100億円**
- 融資利率: 0.6~1.0%(利子補給率0.6→**0.7%**)
- 融資限度額: 設備投資資金 1億5,000万円 運転資金 5,000万円

住宅の省エネ・再エネ設備投資への支援 2億9,355万7千円

現行の補助制度の拡充による支援強化

エネルギー使用量やCO₂排出量の削減を加速させるため、既存住宅の蓄電システムの導入等への支援を拡充する。

- 補助件数の拡大 1,932件 → **3,864件**
- 蓄電システム: 5万円/件 → **10万円/件**
- エネファーム: 5万円/件 → **10万円/件**
- 高断熱窓: 補助率1/10・上限5万円 → **補助率1/5・上限10万円**



県内施設園芸農家の省エネ転換への支援 4億3,001万円

省エネ機器等の導入支援

施設園芸農家に対して、燃料費高騰の影響を受けにくい省エネ機器等の導入経費の**1/2**を補助する。

- 補助対象: ヒートポンプ、被覆資材等、品種・品目転換のための種苗購入費

